

きらりいわた人スペシャル

俳優 深川麻衣



——まずは、「ようこそ磐田市へ」ではなく、「お帰りなさい」ですね。磐田市に帰って来られて、第一印象はどうですか？

磐田市に着いて、磐田駅に降り立ったときの雰囲気や空気の香りがとても懐かしく感じて「帰って来た！」と実感しました。

実家の周りは夜になるとカエルが結構大きい声で鳴いているんですけど、全くうるさく感じなくて、むしろ落ち着きますね。あと、夏の田んぼの青々している景色や香りがとても好きなんです。

他にも、電車の中で学生の子たちが遠州弁で会話しているのが聞こえてきたりすると「磐田に帰って来たなあ」という気持ちになりますね。

——では少し、今の深川さんについて、お聞きしたいと思います。過去には、2013年1月に広報いわたの「ざらり磐田人」で深川さんをご紹介させていただきました。

その際には「乃木坂46」の深川麻衣さんでしたが、2016年にグループを卒業され、現在は俳優の深川さんに

なりました。

立場や環境が変わって、心境などの変化もありますか？

色々な面で変化が大きいですね。グループにいたときはグループのことを知ってもらいたい、グループを通して自分のことを知ってもらいたいという気持ちでした。でも、グループを卒業して個人の活動になると、グループの看板を外した「深川麻衣」のを知ってもらいたい、覚えてもらいたいという気持ちになりました。

あと、お芝居は普段の生活で体験したことや感じたことも繋がってくるので、「自分がどう感じるのか」とか「何が好きで何が嫌いか」という自分自身を知ることがすごく大切なんだということに気付きました。

——俳優というお仕事は、ご自分にとって、どのようなものでしょうか？また、どのように向き合っていますか？

すごく奥深いお仕事だなと思います。昔から「つくる」ということにも興味があって、グループにいたと



きも映像のお仕事がすごく好きだったんです。クリエイターさんたちとお仕事をするとときに、まず企画書があって、絵コンテがあって、映像になったら編集があって、いろいろな段階を経て作品が完成されていく過程がとても好きでした。

今も「つくる」ということが変わらず大好きなんですけど、お芝居は正解がないお仕事なので、少し苦しいと感じることもあります。1本の映画を見

ても、それを面白いと感じる人もいれば、悲しいと感じる人もいるかもしれないですね。見る人もそれぞれ自由な見方がありますし、作っていく側もいろいろな答えがあって、何が正解なんだろうと考え始めると悩むこともあります。

だけど、答えがないからこそ楽しんで、知りたいという気持ちが生まれるし、ずっと続けられるお仕事だなんて思います。

撮影して、皆さんに届くまでの時間はすごく不安な気持ちになるんですけど、作品を見てくださった方から感想をいただけたときはすごく嬉しくて、その嬉しさも続けていける理由の一つかなと思いますね。

——俳優として活躍し続けることは本当に大変なことだと思えます。頑張り続けるため、活躍し続けるために意識していることはありますか？

今までいろいろな作品で、本当に魅力的な共演者の方々と出会う機会に恵まれて。年齢関係なく、素晴らしい内面を持っている尊敬できる方が周りにたくさんいるので、最初の頃は自分と比べてしまい、自分にはないものに行きがちだったんです。

でも、人と比べてもしょうがない、人と比較するのではなくて、自分と向き合って対話した方がいいんだと感じるようになりました。ないものねだりではなくて、自分にあるものに目を向けて、「この人になろう」ではなくて、「自分の良いところを見せよう」と思うようにスイッチを切り替えてからすごく気持ちになりました。

——ストレスや疲れを感じたとき、深川さんの気分転換やリフレッシュ方法があったら教えてください。

友達とたわいない話をしていただけでもストレス解消になるんですけど、一番は食事ですね。おいしいご飯を食べるとすごくリラックスできます。

撮影中はあまり自由な時間がないので、おいしいお弁当とかご飯とか、食事の時間って大きな楽しみのひとつな





いますが、深川さんにとって磐田市はどんなまちでしょうか？

「ほっとできる場所」ですね。ちょっと疲れたときとか、家族になかなか会えてないときは「帰りたいなあ」ってふん思ってます。

帰ってくるとすごくほっとしている自分に気がきますね。身体も心もリラックスしているなって感じますし、落ち着ける場所ですね。

—— 深川さんにとっての「磐田市の好きな場所」「市外・県外の方に磐田市のコレを自慢したい」を教えてください。

茶畑の景色がすごく好きで、帰ってくるときも新幹線の窓から茶畑が見えてくると「磐田に近づいているなあ」って思いますね。ららぽーと磐田の周辺とかも一面に茶畑が広がって「きれいだなあ」って思います。

学生の時は、自然が当たり前にあってあまり意識していなかったんですけど、東京から帰ってくると山も海もあって、自然に恵まれた素敵なまちだなと思います。

らっていました。他にも、梅ジュースとか、梅を刻んでお肉と煮ると、さっぱりしていておいしいです。

最近「せいろ蒸し」のおいしさを再確認しました。蒸すと籠の木の香りがお肉とか野菜にほんのり付いて、それにちょっとポン酢をつけるだけでとってもおいしいんですよ。

あと、夏は特に梅が好きですね。小さいころからおばあちゃんが漬けた梅干しをが大好きでよく食べさせても

周りの人の影響が一番大きいのかなって思いますね。穏やかな静岡県民の人柄や家族、また静岡から東京に出てからも自分の周りにいてくれる友達とかお仕事の方とか。日常生活でもお仕事でも、周りの人から影響を受けることがとても多いですね。

—— 深川さんが思う「ふるさと磐田」について、お伺いさせていただきます。

磐田市を離れられて10年以上経つと思

—— 深川さんは、すごく気遣いができる方だとテレビなどで紹介されています。また、前回の「広報いわた」のインタビューでは、「ご自身で「マイペースな性格です」とおっしゃっていました。ご自分の性格の原点は何だと思いますか？



—— 深川さんが考える「夢」を実現するために必要なことを教えてください。

何よりも「楽しむこと」と「自分を信じること」かなと思います。

新しいことにチャレンジしたり変化していったりすることって勇気がいることだと思うんです。だけど、「失敗は失敗じゃなくて経験なんだ」と思うと心が軽くなるので、楽しみながら自分のやりたいことにチャレンジしていくことが一番じゃないかなと思います。

—— 磐田市民の皆さんにメッセージをお願いします。

磐田市はすごく大好きなまちなので磐田市出身として東京でお仕事をしながら磐田市の良さをたくさんの方に知ってもらいたいと思います。

磐田市の皆さんには「磐田市出身なんだ！頑張っつてね！」って応援してもらえるように、もっと頑張っつていききたいと思います。

これからも応援をよろしくお願いします。

## ふかがわ まい 深川 麻衣

1991 年生まれ

磐田市出身

2011 年から 2016 年に乃木坂 46 のメンバーとして活動。2018 年に初主演映画「パンとバスと 2 度目のハツコイ」で第 10 回 TAMA 映画賞最優秀新進女優賞を受賞。NHK 大河ドラマ「青天を衝け」・和宮役、CM「マイナポイント事業」など、映画・ドラマ・CM などで活躍中。

